

東日本大震災 復興支援情報誌

TSUNAGARI 通信

Vol.8 一般社団法人つながり

発行//1月17日

2017年になり、東日本大震災から六年を迎えようとしています。震災当初から被災地での支援活動を続け、今でもこうして継続が出来るのは沢山の方々のご理解と応援があるからです。周りの方への感謝の気持ちを胸に今年も困ってる方へ全力で支援を行なって参ります。

毎年仙台大崎八幡宮で行われている裸参りに今年も団体で参加してきました。1時間の道のりを歩き本堂で不忘復興の祈りを捧げ、年初めから身の引き締まる思いでの裸参りを行ない、7回忌法要へ向け心を込め準備を進めていきます。

3月11日には人により様々な思いがあると思います。その思いを忘れずに伝えていく事がとても大切で、震災で亡くなった方への供養にもなります。宮城県には津波による行方不明者が未だに1232名もおられます。当団体では毎年3月11日には物故者への法要・捜索活動を南三陸町歌津にて地元の方とともに行っていきます。捜索活動では毎年この日だけは必ず行方不明者の手掛かりとなるものが見つかっています。奇跡とも思えるこの結果は、全国の皆様方の「思い・祈り」があるからこそだと感じます。

今年の7回忌法要、どなたでもご参加できます。一人一人の思いが集まれば今年も奇跡を起こすことが出来ます。被災地の町並みはどんどん変わっていきませんが、私たちの不忘復興は変わりません。

本年も変わらぬ応援よろしくお願いたします。



つながり支援活動応援会員募集開始

当団体つながりでは、この度会員の募集を始めました。一口1,000円/月になります。会員費は当団体の活動費や災害地への支援金として使わせていただきます。登録はホームページから行えますのでそちらをご覧ください。

つながりプロジェクト 会員



2016年を振り返って。。



昨年は、熊本地震、鳥取地震、台風10号による各地での水害など様々な災害が発生し、日本人にとっての厄年のようでした。当団体では、熊本地震と岩手県岩泉町における台風10号の支援活動を行ないました。

熊本地震では地震の翌日に現地入りし御船町での活動を7ヵ月にわたり行ない地元の方々から沢山の信頼を頂くことが出来、御船町町長から直々に感謝状までいただきました。

岩手県岩泉町での活動は熊本地震での活動と時期が被っていましたが延べ5400名以上のボランティアの方に協力頂けたことにより両県での活動を潤滑に行えました。岩手県岩泉町での支援活動は現在も続けており、1月いっぱいまで活動を行ないます。残り短い期間となりますが応援よろしくお願いたします。

また、昨年から続けているネパール地震学校再建活動では、現在校舎が9割できあがり、残すは内装のみとなり今年の春には完成する見通しがつきました。現地の人との言葉の壁や、文化の違いでなかなか予定通りに進まなかっただけに今春がとても待ち遠しいです。

全ては募金協力や支援活動で当団体に関わってくれた皆様方がいてくれたおかげです。

まさに「ALL FOR ONE ONE FOR ALL」の1年となりました。